

第6学年 年間指導計画(国語科 全143時間)

学習の目標

○目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどを的確に話すことや、相手の意図をつかみながら聞くことを学ぶ。また、計画的に話し合おうとする態度を育てる。

○目的や意図に応じ、考えたことなどを筋道立てて文章に書くことを学ぶ。また、効果的に書こうとする態度を育てる。

○目的に応じて、内容や要旨を捉えながら読むことを学ぶ。また、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。

学習の方法

○自分の考えを資料に示しながらスピーチしたり、目的意識をもって友達の考えを聞いたり、調べたことなどを話し合ったりする活動を取り入れる。

○手紙を書いたり、調べたことや経験したことを文章に表したりすることを取り入れる。

○図鑑や辞書を活用して調べる活動を取り入れる。

学習の評価

次の5つの観点にそって、どれだけ達成できたかによって評価する。

1. 国語への関心・意欲・態度
2. 話す・聞く能力
3. 書く能力
4. 読む能力
5. 言語に関する知識・理解・技能

「よいこのあゆみ」では、それぞれについての総合的な結果を知らせる。評価の方法は、ペーパーテストのほか、プリント、ノート、発表などである。

| 単元名 | 主な学習内容 |
|---------------------------|--------------------------------------------------------------------|
| 1 想像を豊かにして「語り」をしよう | 物語を読んで感じたことや考えたことが表れるように、「語り」をする。 |
| ・風切るつばさ | 学習のねらいを確かめ、物語を読んで心に残った場面はどこか、作品にどのような思いが込められているか、自分はどのように感じたかを考える。 |
| ・図書館へ行こう | 「語り」を聞き合い、感想を伝え合う。 |
| | 「図書館へ行こう」を読み、日本十進分類法や請求記号を知り、図書館利用の仕方を確かめる。 |
| ・表現をくふうして書こう | いろいろな表現の工夫を知り、表現の効果を考えて書く。 |
| | 学習のねらいを確かめ、これまでに読んだ文章の中で、比喩や反復、倒置を使った文章を探し、その効果について理解する。 |
| | 比喩法、反復法、倒置法などの表現技法を用いて詩を書く。 |
| ・熟語の構成を考えよう | 三字以上の熟語の構成を理解する。 |
| | 三字以上の熟語の構成の型を理解する。 |
| ・漢字の練習 | 四字以上の熟語の意味を考え、その語の構成について理解する。 |
| 2 自分の考えを明確にしながらかもう | 筆者の主張を読み取って、それに対する自分の考えを持つ。 |
| ・イースター島にはなぜ森林がないのか | 題名に対する答えを予想しながら説明文を通読し、学習のねらいを確かめる。 |
| | 事実と意見を区別しながら読み、読み取ったことをノートに整理したり感想を発表したりする。 |
| | 筆者の主張についてまとめ、それに対する自分の考えを発表し合う。 |
| ・学校の良さを宣伝しよう | 根拠や理由を明確にして、聞き手の印象に残るように工夫して話す。 |
| | 学習のねらいを確かめ、手順を確かめながら、聞き手の印象に残るように話すための工夫について考える。 |
| | グループで学校の良さについて話す練習をし、それぞれの話について相互評価する。 |
| ・動詞にそえて使う言葉に目を向けよう | いろいろな補助動詞があることを知り、それぞれの働きや意味を理解する。 |
| | 補助動詞の働きと使い方を理解する。 |
| ・漢字の練習 | 練習題を行ったり、補助動詞を使った短文を作ったりして、補助動詞の働きについて理解を深める。 |
| 3 物語が強く語りかけてきたことを考えながらかもう | 物語が自分に最も強く語りかけてきたことを、自分の言葉でまとめる。 |
| ・ばらの谷 | 学習のねらいを確かめ、物語を読んで初発の感想を発表する。 |

| | |
|--------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| | 「設定」「展開」「山場」「結末」の四つの部分に分けて物語の構成をとらえ、あらすじをまとめる。 |
| | 叙述を手がかりに、それぞれの部分でのドラゴンの心情を読み取り、全体を通したドラゴンの変化を読み取る。 |
| | 物語が自分に最も強く語りかけてきたことは何かを話し合い、短い言葉でまとめる。 |
| ・意見を聞き分けよう | 複数の意見の似ているところや違うところを聞き分ける。 |
| | 学習のねらいを確かめ、教科書P54-55の話し合い例とメモ例を対照してメモの書き方を知り、意見の共通点について話し合う。 |
| | 「やってみよう」で、共通点や相違点を考えながら意見を聞く練習をする。 |
| ・日本の文字に関心を持とう | 平仮名と片仮名の由来と特色を理解し、日本語の表記について知る。 |
| | 仮名の由来を理解する。 |
| | 仮名と漢字の特色を理解し、漢字仮名交じり文の良さを確かめる。(1) |
| 4 書き手のくふうを考えながら新聞の投書を読もう | 読み手を説得するための工夫を読み取る。 |
| ・新聞の投書を読み比べよう | 学習のねらいを確かめ、教科書P62-63を読んで新聞の投書について理解する。 |
| | 構成を確かめながら四つの投書を読み、書き手の主張を読み取ってノートに整理する。 |
| | 四つの投書について、それぞれ読み手を説得するための理由付けの仕方や根拠の挙げ方の工夫をとらえる。 |
| | 四つの投書の中から自分の納得できるものを選び、観点を明確にしてその理由を書く。 |
| ・「わたしの意見」を書こう | 書く事柄を整理し、構成を考えて、意見文を書く。 |
| | 学習のねらいと流れを確かめ、経験したことをもとに取り上げたい問題と、それについての自分の意見を整理する。 |
| | 自分の経験を振り返ったり、インタビューやアンケートで他者の意見を聞いたり本やインターネットで調べたりして、自分の意見の理由や根拠となる材料を集める。 |
| | 書く材料を整理し、自分の意見を効果的に伝える構成を考える。 |
| | 具体例や根拠となる事実を挙げながら意見文を書く。 |
| | 書いた意見文を読み合い、感想を交流する。 |
| ・漢文を読んでみよう | 漢文を音読し、言葉の響きやリズムを味わうとともに、内容の大体を知る。 |
| | 漢文について知り、教科書P77-79の漢文を、言葉の響きやリズムを味わいながら音読したり暗唱したりする。 |
| | 漢文を視写したり、自分なりの言葉で訳したり、感想を述べたりする。 |
| | 漢詩を音読・暗唱し、情景を想像する。 |
| ・本は友達 | 多くの本や文章を読むことの楽しさを知り、読書の範囲を広げる。 |
| | 読書体験について書かれたエッセイを読み、読みたい本を探して楽しんで本を読む。 |
| 5 詩と短歌を味わおう | 情景や心情を思いうかべながら、詩や短歌を声に出して読み味わう。 |
| ・いま始まる新しいいま | 情景や心情を思い浮かべながら詩や短歌を読み、作品に込められた感動の中心について話し合う。 |
| ・短歌 | 情景や心情を思い浮かべながら、七五調のリズムや区切りに注意して詩や短歌を声に出して読む。 |
| ・問題を解決するために話し合おう | 自分の意見を的確に伝えて、ほかの人の意図を考えながら話し合う。 |
| | 学習のねらいや活動の流れを確かめ、自分たちのふだんの話し合いについて振り返る。 |
| | 話し合い例から、司会者や参加者などそれぞれの役割に応じた留意点を確かめる。 |
| | 自分たちのクラスで解決したいテーマを取り上げて話し合った後、話し合いを振り返る。 |
| ・資料を活用して書こう | 資料を効果的に使って文章を書く。 |
| | 学習のねらいを確かめ、教科書P98-99の例文を読んで資料をどのように活用しているかを考える。 |
| ・漢字の練習 | 資料が表している内容を読み取り、呼びかけの文章を書くのに必要な資料を選ぶ。 |

| | |
|---------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| | 資料から読み取った内容を活用して、呼びかけの文章を書く。 |
| | 書いた文章を交換して読み、資料の活用の仕方を助言し合う。 |
| 6 人物の生き方を考えながら読もう | 物語に出てくる人物の関係をおさえ、物語が自分に最も強く語りかけてきたことについて考える。 |
| ・海のいのち | 学習のねらいを確かめ、物語を読んで初発の感想を発表する。 |
| | 「設定」「展開」「山場」「結末」の四つの部分に分けて物語の構成をとらえる。 |
| | 部分ごとに人物の関係を整理し、物語の流れをおさえるとともに、人物の心情や描写をとらえ、物語全体を通した太一の変化を読み取る。 |
| | 物語が自分に最も強く語りかけてきたことについてまとめ、話し合う。 |
| ・子ども句会を開こう | 表現を工夫して、俳句や短歌を作る。 |
| | 学習のねらいや流れを確かめ、俳句の決まりを確かめたり、作品のすぐれているところを話し合ったりする。 |
| | 身の回りの生活の中から五感を働かせて俳句の材料を集め、言葉や表現を吟味して俳句を作る。 |
| | 句会を開き、互いの作品の良さを味わう。 |
| | 短歌についての理解を深める。 |
| ・言葉の由来に関心を持とう | 和語・漢語・外来語の由来を理解し、日本語についての関心を深める。 |
| | 和語・漢語・外来語の由来について理解する。 |
| ・漢字の練習 | 身近な外来語について、もとはどこの国の言葉だったか調べる。 |
| 7 「持続可能な社会」への取り組みについて調べよう | 資料の示し方や具体例の挙げ方に注意して、筆者の意見を読み取る。 |
| ・未来に生かす自然のエネルギー | 学習のねらいと流れを確かめ、説明文を通読して初発の感想を発表する。 |
| | 資料の示し方や具体例の挙げ方に注意して、文章構成図を参考にしながら筆者の意見を読み取る。 |
| | 自分の課題について複数の資料や情報を活用して調べ、ノートに整理する。 |
| | 調べて分かったことを図表などの資料を工夫しながらリーフレットにまとめ、クラスで読み合って成果を交流する。 |
| 8 資料を使って説明しよう | 資料を効果的に使って、分かりやすく説明する。 |
| ・深めよう、言葉の世界 | 学習のねらいや活動の流れを確かめ、似た意味の言葉を集める。 |
| | 同じ言葉を選んだ人とグループを作り、さまざまな方法で調べる。 |
| | 調べたことをもとに、似た意味の言葉の共通点や相違点について気づいたことをまとめる。 |
| | 発表のための資料や発表メモを作り、発表の練習をする。 |
| | これまでのグループを解体して新たなグループを作って発表し、自分の発表を振り返った後、教科書P53「話し言葉と書き言葉」を読んでそれぞれの特徴を知る。 |
| ・言葉は変わる | 言葉は時代とともに変化したり、世代によって異なったりすることについて知る。 |
| | 言葉が時代とともに変化することを知る。 |
| | 世代によって言葉が異なることがあることを知る。 |
| 9 戦争と人間の生き方をえがいた本を読み広げよう | 一つの物語をきっかけにして、関連するテーマの本を読み広げる。 |
| ・ヒロシマのうた | 学習のねらいと流れを確かめ、物語を読んでヒロ子の生き方や題名の意味などについて考え、話し合う。 |
| | 戦争と人間の生き方をえがいた本を読む。 |
| | 読んだ本の読書感想文を書き、交流する。 |
| 10 ふるさとの良さを文章で伝えよう | 目的に応じて書く事柄を集め、形式を選んでまとめる。 |
| ・ふるさとの良さをしょうかいしよう | しょうかいしたいものの良さが効果的に伝わるように、工夫して書く。 |
| | 学習のねらいと流れを確かめ、ふるさとの良さについて話し合う。 |

| | |
|----------------------|----------------------------------------------------------------|
| | 紹介したいふるさとの良さを決め、いろいろな方法で調べる。 |
| | 調べたことをメモに整理し、紹介したいふるさとの良さを伝えるために書くことを選ぶ。 |
| | 伝えたいことに合わせてまとめる形式を決め、効果的な構成を考える。 |
| | ふるさとの良さを紹介する文章を書き、作品を整える。 |
| | 完成した作品を読み合い、ふるさとの良さが伝わるものになっているか伝え合う。 |
| ・伝えよう、大切にしたい名言 | 目的に合わせて、自分の経験と考えを簡潔に書く。 |
| | 伝えたいことを明確にして、話の組み立てを工夫して話す。 |
| ・漢字の練習 | 学習のねらいや活動の流れを確かめ、知っている名言を出し合う。 |
| | いろいろな名言を調べて集める。 |
| | 集めた名言の中から心に残るものを選び、それにまつわる自分の経験や考えを文章に書き、それらをまとめてクラスの名言集を作る |
| | 選んだ名言について話したいことを整理して組み立てを考え、スピーチの練習をする。 |
| | クラスの前でスピーチを行い、聞き手は自分と比べて感想を述べたり質問したりする。 |
| 11 わたしたちの日本語について考えよう | 筆者の意見と具体例の関係に注意して二つの文章を読み、経験したことや学習したことをもとに自分の考えを書く。 |
| ・豊かな日本語の使い手になろう | 学習のねらいと流れを確かめ、これまでに学習した日本語の使い方や特徴を振り返って発表する。 |
| ・雨のいろいろ | 筆者の意見と具体例の関係に注意しながら二つの説明文を読み、日本語の特徴や良さ、おもしろさなどについて感じたことを話し合う。 |
| ・数え方でみがく日本語 | 「こんな本もいっしょに」で紹介されている本も参考にしながら、日本語や言葉について書かれた本を読む。 |
| | これまでに学習したことを振り返り、また読んだ本に書かれていたことを参考にしながら、日本語について考えたことを文章にまとめる。 |
| | 書いた文章を読み合い、互いの主張について感想を述べ合う。 |
| 12 未来に向かって | 文章と詩を読んで、自分の考えや思いを広げたり深めたりする。 |
| ・君たちに伝えたいこと | 「君たちに伝えたいこと」を読み、筆者からのメッセージについて話し合う。 |
| ・春に | 筆者からのメッセージに対し、自分はどのように感じたかを話し合う。 |
| | 「春に」を読み、作品に込められた思いについて考える。 |